

新鳴野橋

しんしぎのはし ● Shinshigino-bashi

〈第二寝屋川〉



大阪城の北外濠付近から第二寝屋川に架かる橋が新鳴野橋。この橋は、豊臣時代の城絵図や大坂の陣を描いた絵には見あたらず、大阪城三の丸の整備が行われたときに架けられたと考えられている。当時は鳴野橋と呼ばれる公儀橋だった。また城内にあったため一般の人は利用できなかった。

明治に入ると弁天島の地が軍用地となり、橋も陸軍の施設となったため橋の架け換えなどの詳細は分からないがこの頃に鉄橋になり、その後の昭和10(1935)年に架け換えられたと伝えられる。戦後、軍管理の橋が大阪市に引き継がれる際に新鳴野橋と命名された。



現在の橋は、昭和63(1988)年に架け換えられたもので、高欄に擬宝珠(ぎぼし)が付けられている。また、この橋の由来碑も整備されている。

